

令和6年度 公益財団法人福岡観光コンベンションビューロー 事業計画

はじめに

福岡観光コンベンションビューローでは、福岡市の観光・MICEの取組みの方向性を示した「観光・MICE推進プログラム」に基づき、観光・MICEの推進体制と基盤強化に取り組むとともに、当財団を旗振り役とする観光地域づくりに向けて、令和6年度から3年間の計画期間とする戦略を策定した。

戦略のコンセプトである「歴史的交流都市としてのブランドの進化と郷土愛(シビックプライド)の醸成」を念頭に、地域経済のさらなる活性化や、持続可能(サステナブル)な観光・MICEの取組みを推進する。

令和6年度は、観光需要による賑わいが地域にとってプラスとなるよう、観光に関する人々の理解を深めるための情報発信や参画の場づくりや、観光の量から質への転換に向けた取組みを推進する。

観光振興においては、福岡の豊かな文化と観光客をつなぎ、周遊、滞在促進、付加価値の高い旅行などを推進するため、歴史などの地域資源の活用、「まち歩き」の担い手づくり、人手不足、オーバーツーリズム、生産性の向上など観光課題へ対応するとともに、「西のゴールデンルート」への参画、修学旅行の誘致、福岡型ワーケーションへの支援充実に取り組む。

また、Meeting Place Fukuoka (MPF) では、MICE開催地として選ばれるため、魅力向上や多様化するMICEニーズに合わせた支援を行うとともに、欧米市場の獲得を視野に入れたセールスを実施する。

★：重点取組

1 福岡の魅力づくり

福岡市の歴史・文化、伝統をはじめとした観光資源を活用した魅力づくりを推進するとともに、来訪者のニーズを把握しながら、地域と連携した受入環境の向上に取り組む。

(1) 地域資源を活かした観光振興

★① 歴史・文化、伝統の観光資源を活かした観光案内・まち歩き等の推進強化

イベントや国内外の観光客、団体ツアー客など様々なニーズに対応できるよう、段階的にボランティアガイドの増員を図るほか、他の関係団体とも連携する仕組みを検討する。

また、歴史・文化観光資源などの活用したまち歩きに加え、外出困難な障がい者や高齢者が安心安全に参加できる「ユニバーサルツーリズム」に対応したまち歩きの企画・実施、オンラインまち歩きの充実に取り組む。

② 福岡市観光案内ボランティア等の運営

観光案内を行うボランティアガイドやウェルカムサポーター(主にクルーズ船対応)等の育成強化を図り、天神・博多など重点エリアでの観光案内業務を行う。

③ エリア観光の充実

ア 歴史・文化、伝統芸能など、地域資源を活用した特別な体験プログラムを企画する上で、地域や観光関連事業者等と連携した観光コンテンツの高付加価値化を図るとともに、欧米豪のインバウンド需要の創出を目指す。

イ 「まゆの館」との連携や「御城印・古地図」の販促強化など、福岡城エリアの魅力づくりに取り組む。

④ 観光情報の発信

- ア 観光情報サイト「よかなび」で観光スポットやイベント情報などを発信する。
- イ エリア特性やターゲットを踏まえた福岡市の魅力を伝えるコンテンツを制作し
国外向け観光情報サイト（観光グローバルサイト）で発信する。

(2) 祭りの振興

本市の貴重な観光資源である「博多どんたく港まつり」や「博多祇園山笠」などの祭りや文化的行事の継続的な振興のため関係各所と連携して運営、支援を行う。

(3) 福岡検定の実施

福岡への愛着を深め、市民のおもてなしの心の醸成を図るため、福岡市、福岡商工会議所との共催により、福岡検定を実施する。

(4) 受入環境の向上

国内外からの来訪者が、観光案内所（天神・博多駅）を拠点に安全安心かつ快適に過ごせる受入環境の整備に取り組む。また、観光案内所（天神）においては、「食」に特化した専門デスクを設置し飲食店の予約サポートを行うなど、「食」をテーマにした情報発信に新たに取り組むなど、観光案内所としての機能強化を図る。

2 観光客の誘致・受入

付加価値の高い旅行を推進するため、長期滞在客、欧米豪からの訪日客等を重点ターゲットに、観光関連事業者や地域、関係団体・機関と連携し、観光客の誘致を促進する。

★(1) 観光関連産業の連携強化

観光関連事業者や賛助会員等のステークホルダーとの連携・交流を通して、観光産業の課題解決や、更なる活性化に向け新しい価値を創る取り組みを行う。

- ① 観光関連事業者や賛助会員等をつなぐマッチングイベント等の実施
- ② 就職フェアや研修等の実施

宿泊事業者等の人材確保のため、観光業界の魅力を伝える学生向け説明会や宿泊事業者と求職者をつなぐ就職フェアの開催、若手のホテル従事者等を対象とした研修・交流プログラムなどの機会を創り提供する。

(2) 広域連携誘客事業

- ① 西のゴールデンルートの推進

西のゴールデンルートアライアンスに参画し、自治体や民間事業者と連携したプロモーション活動を行う。

- ② 国内向けプロモーション

福岡・大分デスティネーションキャンペーンへの対応及び「ツーリズムEXPOジャパン2024」への出展を行う。

- ③ 海外向けプロモーション

「旅行博ITF（台湾）」及び「旅行博ITF（タイ）」への出展を行う。

(3) 修学旅行による都市圏周遊の推進

修学旅行への支援や情報発信等により周遊観光を推進する。

- ① 修学旅行に係る交通費（貸切バス）の支援
- ② 修学旅行に対する「体験学習プログラム」への参加費支援
- ③ 「修学旅行パス」による周遊促進
- ④ 修学旅行プロモーション

専用サイトによる情報発信や、モニターツアー、旅行会社・学校へのセールス活動を実施する。

(4) 福岡型ワーケーション推進事業

本市の魅力であるビジネス環境の良さや、都市機能と自然が近接したコンパクトシティの特徴を活かした「福岡型ワーケーション」を推進し、滞在長期化・リピーター化を図る。

- ① 企業のワーケーションプログラム開発支援及び体験会などのプロモーション
- ② ワケーション利用者向け特典の拡充
- ③ 国際的なりもつワーカーに適したワークスペース情報の集約・発信等

(5) 多様な連携

福岡都市圏や県内の団体、九州各都市や広域観光団体等との連携による共同誘致活動などを行う。

- ① 福岡地区観光協議会、福岡県観光連盟、九州観光機構など観光団体等との連携
- ② 姉妹協会等団体との交流連携

3 MICEの誘致・支援

企業主催のM（Meeting：会議）やI（Incentive：報奨・研修旅行）、E（Exhibition：展示会・見本市）の誘致を促進するとともに、市民にわかりやすいシンボリックなC（Convention：大会・学会・国際会議）を誘致・開催することで、シビックプライドの醸成に繋げていく。

特に欧米からのMICEの獲得、規模が拡大傾向にあるインセンティブへの支援の充実や、新たな展示施設を活かして展示会・見本市の新規分野の開拓など、開催地としての魅力向上により「選ばれるMICE都市」を目指す。

★(1) MICE誘致強化

① ミーティング、インセンティブツアー誘致強化

MPFの主催する招聘事業などに参加したMICE主催者のフォローアップを通じて具体的な成約、新たな顧客を獲得に取り組む。

また、欧米系の企業や学協会事務局の支社・支局を多く有するシンガポール市場の開拓の足掛かりとして、現地にMICE主催者等を集めたセミナーを開催。

② コンベンション誘致強化

福岡市のプレゼンス向上につながる国際会議や、市民や事業者と一体となっておもてなしを行う大型MICEなど、シンボリックMICEの誘致に取り組む。

また、欧米に事務局を置く学協会の開催地決定権を持つ方々へのコンタクトを継続することで、欧米系国際会議の誘致促進を図る。

③ 展示会・見本市誘致強化

展示会・見本市主催者が参加する主要商談会への出展や、首都圏および関西圏における集中セールスなどを通じて、誘致活動を強化する。また、主催者が福岡市内での新規事業等についての事前調査活動の支援や、地元業界団体・企業等とのビジネスマッチングを行い、新規の開催需要を開拓する。

(2) MICE支援

MICE主催者の多様なニーズに合わせた支援を行う。

① ミーティング、インセンティブツアー開催支援

大規模な企業ミーティング及びインセンティブツアーの誘致を目的に、助成金や文化体験プログラムなどの支援策を拡充する。

② 見本市等開催支援

地場企業やMICE関連事業者等へ商談や取引のビジネス機会を創出するため、市内初開催及び拡張開催の見本市等に対して、会場使用料の一部を助成する。

③ コンベンション開催支援

国内大型会議・大会や外国人が多く参加する国際会議開催にかかる費用の一部助成や、ユニークベニュー活用を支援する。

(3) MPFワンストップ体制の運営

MPFで国内外のMICE誘致案件の調査・営業から、開催支援、産業振興のためのビジネスコーディネートまでワンストップ体制で行い、多様化するMICEニーズに合わせた支援を実施するとともに、誘致ターゲットを明確化し、戦略的な誘致活動を行っていく。

① コンベンションの誘致活動

- ア 福岡市内・首都圏等での主催者向けセミナー開催や個別営業
- イ MICE主催者等の招聘、国内外キーパーソンへのセールス
- ウ 福岡コンベンションセンター、福岡市と連携した戦略的セールス

② 地元学術界・産業界とのネットワーキング

市内主要大学でのMICEセミナー開催や、産学官連携による企業等視察見学会などを実施する。

③ コンベンションサポート事業

MICEに関連する施設や事業者（MPFパートナー・賛助会員）を紹介するなど、主催者に対して支援を行う。

(4) MICE人材育成

MICE業界を担うグローバル人材の育成を図るため、大学・専門学校、MPFパートナー、賛助会員等と連携し、大学生・専門学校生を対象としたセミナーや実地研修などを実施する。

(5) 関係機関・団体との連携

MICE関係機関・団体等との緊密な連携及び関係強化を図ることにより、MICE誘致に係る情報収集や共同誘致活動などを行う。

① MICE関係機関・団体との連携

観光庁、日本政府観光局(JNTO)、日本コンgres・コンベンション・ビューロー(JCCB)、九州・沖縄地区コンベンション推進団体連絡会、日本展示会協会など

② 地元経済団体との連携

福岡地域戦略推進協議会(FDC)、九州経済連合会、福岡商工会議所など

③ 業界のグローバルな団体等への加盟

国際会議協会(ICC A)、ミーティング・プロフェッショナルズ・インターナショナル(MP I)、インセンティブ旅行協会(SITE)、IGLTA(国際ゲイ・レズビアン旅行協会)、国際コンベンション管理協会(PCMA)など

4 情報発信・広報、マーケティング

戦略的な情報発信を行うとともに、観光・MICEに関するトピックなどを情報提供する。

(1) デジタルマーケティング推進

① 観光関連事業者のデジタル対応支援

G B P (Google Business Profile) の活用や集客に向けた情報発信を支援する。

★② 観光データの収集・分析・活用

来訪者の周遊行動を把握するために、携帯電話の位置情報データの活用や、国内外の観光客へのアンケート調査を行う。来訪者の興味関心の分析、宿泊状況の可視化・混雑状況の予測などを行い、観光関連事業者へ定期的に情報共有を行う。

(2) 戦略的な情報発信

① SNSを活用した海外への情報発信

② メディアへの情報提供、取材支援

(3) 広報活動

① 財団ホームページによる情報発信

② 機関誌「オーシャンズ・フクオカ」の発行(年4回)

5 賛助会員・組織運営

観光地域づくりに向けた合意形成プロセス、賛助会員の交流機会やサービスを充実させるとともに、新たな会員獲得に向けた取組みを行う。

★(1) ステークホルダーの理解・参画促進

観光関連事業者や市民などを対象としたシンポジウムを開催し、観光・MICEの意義や重要性、地域の課題等について理解・納得を得るとともに、観光地経営への参画を促す。

★(2) 賛助会員の事業参画推進

観光・MICEの課題や解決への取組みなどを賛助会員と議論・検討する場（ワーキンググループ）を新設。賛助会員の意見を反映した事業化に取り組む。

(3) 賛助会員交流会の開催

賛助会員間の交流促進のため、PRブースの設置等を行う。

(4) 賛助会員サービスの提供

- ① コンベンションスケジュールの作成、提供
- ② メールマガジンの配信
- ③ 財団のホームページ、機関誌による会員PR・情報発信